

これの名称の理にお鎮まり下さいます親神天理王命の御前に天理教△△分教会長 慎んで申し上げます

“このみちはどふゆう事に思うかな この世治める真実の道”
と仰せ下さいましたが 私達は栄えある親神様のよふぼく 教祖の道具衆として このお道にお引き寄せ頂き 洵に感謝の念に堪えません

その中にも今日の吉き日は これの教会にお許し頂きました月次祭の日柄に当たりますので 只今から鳴物の調子を合せ 声高らかに明るく勇んでたすけづとめを勤めさせて頂きます

さて 御本部秋季大祭の於いて真柱様は 『諭達第一号』を發布して以来早や三年が経ちましたが この三年の間に二十世紀から二十一世紀に入り 戦争の世紀は終わつたと云われる一方で先頃は早くも前途に不安を覚えずにはおれない衝撃的な事件が起こり 一列兄弟姉妹とお聞かせ頂く人間同士が劇しく戦い 傷つけ合う姿が 今も尚 世界の各地で絶えないことは 誠に痛ましい限りであり 親神様もさぞかしお心をお痛め下されていることと拝察致します”と仰せられました

“はや”と心そろをてしつかりとつとめするなら世かいをさまる”
と仰せ下された御言葉を強く噛みしめ 一層真実込めて日々々々のおつとめに心を揃え 同時にをやの思いを愈々世界に伝える努力を一手一つに払わねばならないと自覚致しております 私達は教祖直々に 夫婦のあり方 親子の間柄 人々との接し方など 陽気ぐらしの世界の基礎ともいふべき人間関係のあり方を懇切にお教え頂きましたが 心のよりどころを持たず 家族の絆は却つて弱まり 徒に 疲れ 迷い 悩む 世の人々に真実のをやの声を伝え たすけの手を伸ばすべき私達よふぼくの責務・急務を心に強く籠めて 改めて一手一つの真実を傾けて参りますので どうか親神様には思召し通りの陽気ぐらしの輪が広く大きく私達の周辺に広がって参りますようお導きの程を一同と共に慎んでお願い申し上げます